

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
道路修景整備事業 清水周辺地区	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度～平成32年度
支援事業名	市単独事業, 社会資本整備総合交付金(国土交通省)
計画に記載している内容	市民と国内外からの来訪者がその魅力を持続的に享受できることを目指し, 名称円山公園として, 適切に整備する。【頁7～20】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

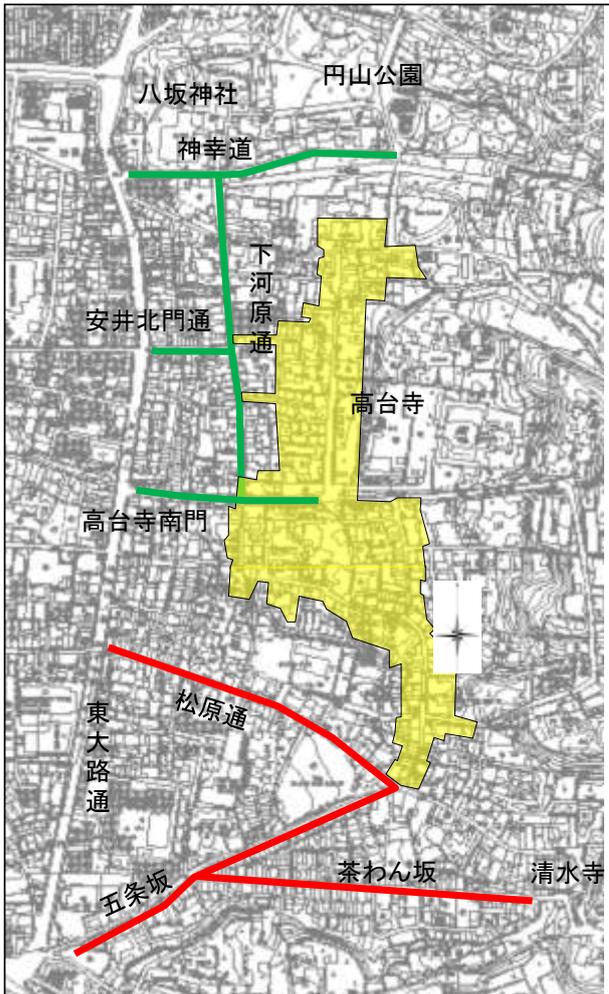
無電柱化に係る地元要望を受け, 技術的な課題解決の方策を検討。

【歴史的風致・基本方針との関係】清水寺周辺の歴史的風致の環境を形成している道路の無電柱化の着実な進捗により, 町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み, 歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	無電柱化事業の実施にあたっては, 巨額の整備費用(幹線系1km当たり7億円, 景観系9億円)を要することや, 地上機器(関連設備)設置スペースの確保等の課題があるが, 引き続き, 無電柱化事業を推進していく。また, 石畳風舗装, 景観照明の設置及び観光案内標識の設置をおこなう。

状況を示す写真や資料等

清水周辺地区整備箇所図



五条坂(整備前)



茶わん坂(整備前)

- 凡 例
- 無電柱化及び道路美化箇所
 - 石畳風舗装, 景観型照明の整備箇所
 - 産寧坂伝統的建造物群保存地区範囲

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
無電柱化等事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 銀閣寺:平成21年度～, 嵯峨天龍寺:平成27年度～, 先斗町:平成27年度～

支援事業名 防災・安全交付金(国土交通省)

計画に記載している内容 市民と国内外からの来訪者がある魅力を持続的に享受できることを目指し、名称円山公園として、適切に整備する。【頁7-20】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

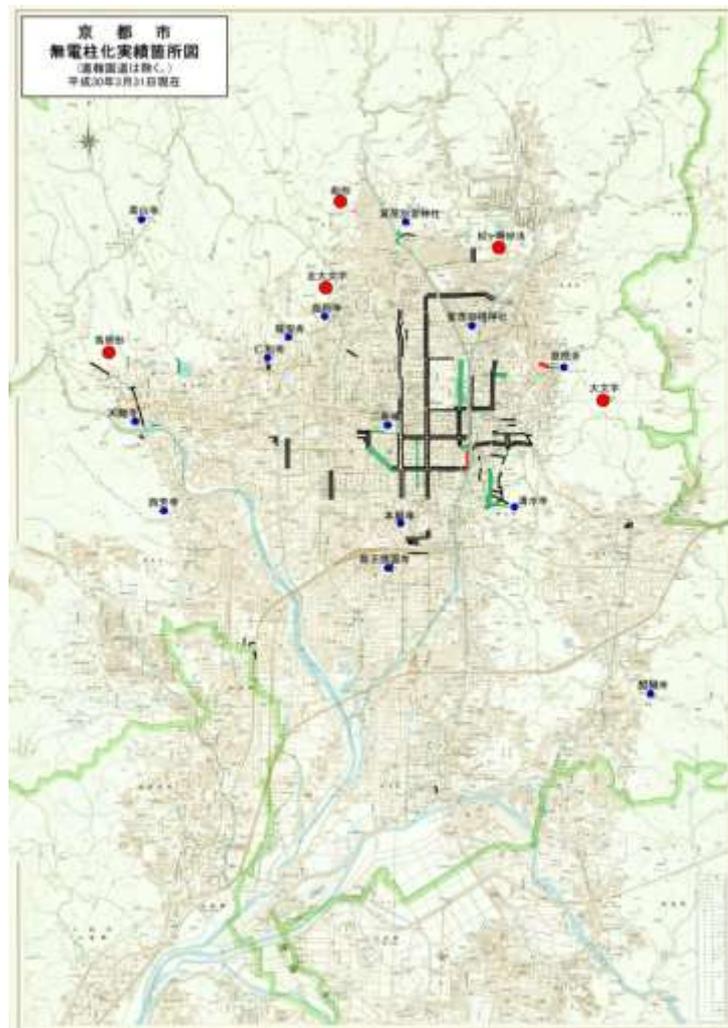
電線類を地中化する電線共同溝工事を実施。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致の環境を形成している道路の無電柱化の着実な進捗により、町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

京都市域無電柱化事業実績箇所図



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
横断防止柵等への間伐材活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民と国内外からの来訪者がその魅力を持続的に享受できることを目指し、名称円山公園として、適切に整備する。【頁7～20】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(京都御苑周辺道路)間伐材を使用した転落防止柵(L=157m)を設置。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致を形成する重要な要素である道路付属物を間伐材を用いて町並みに調和した形で整備することで、歴史資産と周辺の町並みを一体的に守り、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進されるとともに、自然と共生し、「木の文化」を大切にするまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

間伐材を利用した道路付属物



間伐材を使用した
転落防止柵の設置状況



■ 整備箇所

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
観光案内標識の整備		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和30年代～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民と国内外からの来訪者がその魅力を持続的に享受できることを目指し、名称円山公園として、適切に整備する。【頁7～20】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名所説明立札の整備, 既存の観光案内図板及び案内標識の修繕等を実施。
平成29年度は, 名所説明立札(駒札), 説明板, 案内看板の修繕を27基実施したことに加え, 市内産木材のみやこ杉木を使用した名所説明立札(駒札)を新規で50基設置。

【歴史的風致・基本方針との関係】観光案内標識を適切に整備することにより, 人が主役の歩いて楽しいまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

<修繕>

平野国臣殉難の地修繕



<新設>

残念石 駒札設置



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況
「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(防災・安全)(国土交通省)

計画に記載している内容 市民と国内外からの来訪者がその魅力を持続的に享受できることを目指し、名称円山公園として、適切に整備する。【頁7～20】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・四条通歩道拡幅工事完成(平成27年10月末)
- ・四条通整備後、2年が経過した平成29年10月時点の歩行者交通量は、整備前と比べて約1割増加

【歴史的風致・基本方針との関係】これらの取組により、歩いてこそわかるヒューマンスケールのまちの実現に寄与し、人が主役の歩いて楽しいまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<ul style="list-style-type: none"> ・整備後の四条通におけるエリアマネジメントの推進 ・四条通とその周辺細街路における通過交通の流入抑制の推進 ・歩道拡幅に伴う効果検証
状況を示す写真や資料等	

●四条通の歩道拡幅の概要

市内最大の繁華街である四条通(烏丸通～川端通間)で公共交通優化和歩行空間の創出を図るため4車線を2車線化し歩道を拡幅

平成24年 1月 都市計画決定
 平成26年11月 整備工事着手
 平成27年10月 整備工事了



●整備前写真



●整備後写真



●主な整備項目



●四条通整備後の効果検証・影響検証

- 歩道の状況
 - ・四条通整備後、2年が経過した平成29年10月時点の歩行者交通量は、整備前と比べて約1割増加
 - ・その後も増加傾向が継続
- 車道の状況(平成18年比)
 - ・四条通(堀川通～川端通)の交通量…約4割減少
 - ・四条通周辺の幹線道路の交通量…約1～2割減少
 - ※平成27年11月に実施した交通量調査による。

●学会賞等の受賞

- 多角的な視点からの評価を受け、3つの表彰を受賞
- ・国際交通安全学会賞(業績部門)
- ・日本都市計画学会賞(石川奨励賞)
- ・土木学会賞(技術賞)
- ・全国街路コンクール(会長賞)



【四条河原町交差点に設置した記念碑】

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
名勝円山公園再整備(修復)事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～平成36年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(国土交通省), 歴史生き活き! 史跡等総合活用整備事業(文化庁)

計画に記載している内容 市民と国内外からの来訪者がその魅力を持続的に享受できることを目指し, 名称円山公園として, 適切に整備する。【頁7-20】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

再整備(修復)の重点区域に位置付けている公園の中心に位置する「庭園エリア」のうち, 文化財的価値が高い「流れ」の修復に着手した。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致を形成する重要な構成要素である名勝円山公園を整備することで, 歴史的空間の環境整備が進み, 歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	名勝に指定されている文化財であり, 学識者や有識者で構成される「名勝円山公園再整備検討会」の意見を聴取しながら, 再整備(修復)を進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
旧三井家下鴨別邸主屋他保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成29年度

支援事業名 文化財関係国庫補助事業

計画に記載している内容 市民と国内外からの来訪者がその魅力を持続的に享受できることを目指し、名称円山公園として、適切に整備する。【頁7～20】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

主屋、玄関棟、茶室の修理工事を実施。また、敷地整備、防災設備(自動火災報知器等)の設置を行なった。平成28年10月より施設の一般公開を開始した。平成29年度には貯水槽、ポンプ室、消火栓、放水銃などの防災施設の設置工事を行なった。

【歴史的風致・基本方針との関係】<糺の森の地>の歴史的風致の重要な構成要素である旧三井家下鴨別邸の整備を図ることにより、歴史的風致の維持に大きく寄与し、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

防災施設を充実する工事が終了し、一連の整備事業が完了した。

状況を示す写真や資料等



主屋ほか2棟修理工事(修理中)



主屋ほか2棟修理工事(修理後)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
ム リンアン 名勝無鄰庵庭園の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民と国内外からの来訪者がその魅力を持続的に享受できることを目指し、名称円山公園として、適切に整備する。【頁7～20】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度策定した名勝無鄰庵庭園維持管理指針に基づき、維持管理を行っている。

【歴史的風致・基本方針との関係】<伝統と進取の気風の地>の歴史的風致の重要な構成要素である無鄰庵の整備を図ることにより、歴史的風致の維持に大きく寄与し、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

無鄰庵(母屋からの東山の眺め)

